

【活動報告】

(2) 三重県医師会産業医部会新設に向けた取り組み

三重県医師会理事 田中 孝幸

○川上理事長（司会） それでは次に、「三重県医師会産業医部会新設に向けた取り組み」について、三重県医師会の会場から三重県医師会理事、日本医師会産業保健委員の田中孝幸先生にお願いいたします。それでは、田中先生、お願いいたします。

○田中・三重県医師会理事 よろしく申し上げます。三重県医師会産業保健担当理事の田中でございます。ただいまから三重県医師会産業医部会設立に向けた取り組みについてお話をさせていただきます。

まずは三重県の概要について説明します。【資料 5-1】

【資料5-1】

- ・総人口：約178万人（全国22位）全国の人口に占める割合は約1.4%
- ・日本の中央に位置する三重県は、南北に細長く、山地・平野・海岸地域と変化に富んだ地形と美しい自然に恵まれています。
- ・古くから開けた三重県は、**伊勢神宮**をはじめ、**世界遺産熊野古道**など、数々の文化的資産を有するほか、2016年にG7伊勢志摩サミットが開かれた**伊勢志摩国立公園**やF1グランプリが開催される**鈴鹿サーキット**、また大規模遊園地・テーマパークなどの観光資源も充実しています。

三重県の概要

～主な産業～

- ・輸送用機械器具製造業
- ・電子部品・デバイス製造業
- ・化学工業
- ・農業：畜産業をはじめ、お米、お茶（伊勢茶）やみかん等の栽培が盛ん。
- ・林業：森林面積が県土の65%を占め、ヒノキは全国トップ10に入る生産量。製材工場数は全国2位。
- ・漁業：伊勢海老・鮑・牡蠣・河豚等の魚貝類が豊富



総人口178万、南北に長く、山地、平野、海岸地域と変化に富んだ地形と美しい自然に恵まれた県です。古くから開けた三重県は、伊勢神宮をはじめ、2016年にG7伊勢志摩サミットが開かれた伊勢志摩国立公園や、F1グランプリが開催される鈴鹿サーキット、ナガシマリゾートなどの観光資源も充実しています。主な産業は、ホンダ、トヨタなどの輸送用機械メーカー、シャープなどの電子部品、四日市コンビナートにある化学工業、その他農業、林業、漁業も盛んな地域であります。

次は三重県医師会館の概要です。【資料 5-2】

【資料5-2】

公益社団法人 三重県医師会の概要 ①

○所在地 津市桜橋二丁目191番4

(医師会館竣工：昭和55年11月15日)

5階 三重産業保健総合支援センター
三重県医療勤務環境改善支援センター

3階 三重県医師会事務所

2階 ミック三重
三重県眼科医会
三重県産婦人科医会
三重県小児科医会



県庁所在地の津にあり、この建物の中には、三重産業保健総合支援センター、また、その他の医部会の事務所が置かれております。

医師会の会員数は2910名、A会員1178名、B会員1572名です。【資料5-3】

【資料5-3】

公益社団法人 三重県医師会の概要 ②

(令和2年4月1日現在)

○会員数 2,910名

A会員 1,178名 (開業医) <40.5%>

B①会員 1,458名 (勤務医) <50.1%>

B②会員 114名 (三重大学)

C会員 160名 (研修医)

○県下医療機関数

病院 93 医療機関

診療所 1,258 医療機関

郡市医師会は、三重大学も含め、北の桑名から南の紀南医師会まで15あります。【資料5-4】

15 都市医師会・一覧

桑名	(259名)
いなべ	(79名)
四日市	(449名)
鈴鹿市	(322名)
亀山	(47名)
津地区	(336名)
久居一志地区	(113名)
松阪地区	(376名)
伊勢地区	(414名)
志摩	(77名)
紀北	(41名)
紀南	(43名)
伊賀	(116名)
名賀	(109名)
三重大学	(129名)

()内は県医師会会員数



当県における日本医師会認定産業医有資格者は920名、そのうち三重県医師会員は755名、82%です。【資料5-5】

【資料5-5】

当県における 日本医師会認定産業医有資格者の状況 ①

○令和2年4月1日現在・・・**920名**

※三重県医師会で認定者台帳にて管理

三重県医師会 会員・非会員 割合

※三重県医師会 会員 総数 2,910名
(令和2年4月1日現在)

うち日医認定産業医有資格者 755名
(26%)



■会員 ■非会員

次に、男女の割合を見てみますと、男性655名、87%、女性100名、13%でした。これは全国平均より男性が少し多くなっています。【資料5-6】

【資料5-6】

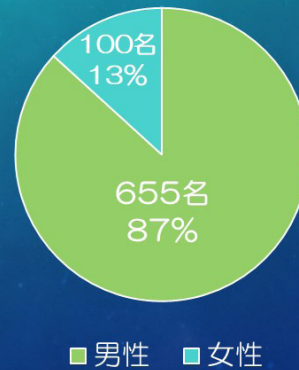
当県における 日本医師会認定産業医 有資格者の状況 ②

三重県医師会 会員（755名）
男女 割合

※三重県医師会 会員 女性総数 452名
(令和2年4月1日現在)



うち日医認定産業医 有資格者 100名
(22%)



また、会員区分を見ますと、A会員378名、50%、B会員361名、48%でした。

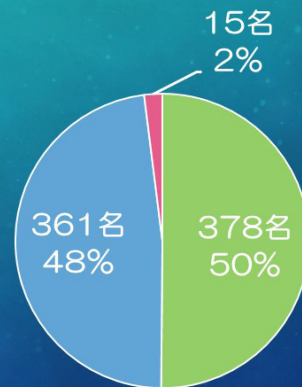
【資料 5-7】

【資料5-7】

当県における 日本医師会認定産業医 有資格者の状況 ③

三重県医師会 会員（755名）
会員区分 割合

- ・ A 会員（開業医）
- ・ B①会員（勤務医）
- ・ B②会員（三重大学）



日本医師会会員は669名で、非会員は86名おり、日本医師会への入会を促進しております。【資料 5-8】

【資料5-8】

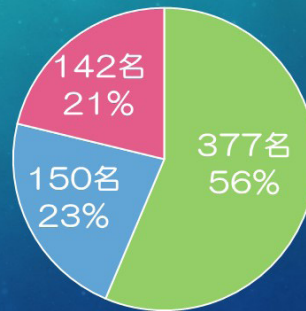
当県における 日本医師会認定産業医 有資格者の状況 ④

日本医師会員（669名）
会員区分割合

※三重県医師会員755名中
日本医師会非会員
86名（11%）



日本医師会への入会を促進



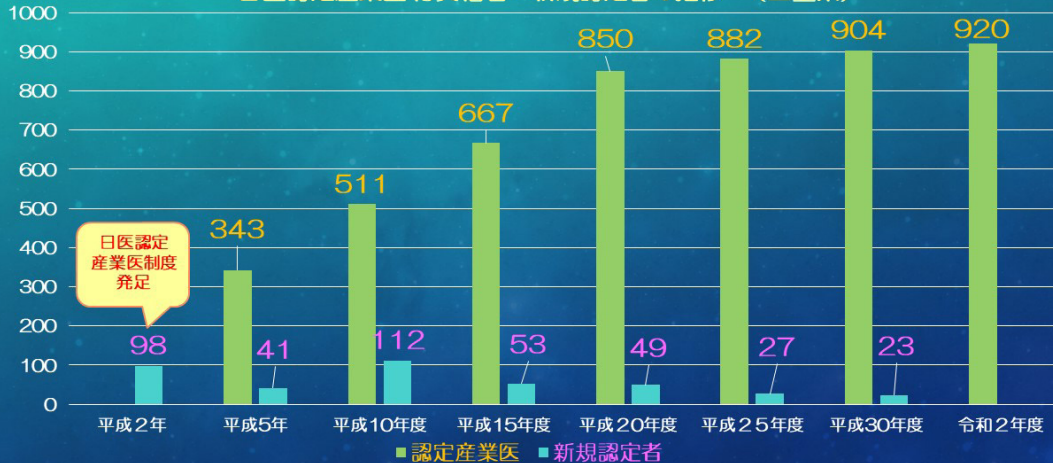
■ A①会員 □ A②B会員 ■ B会員

平成2年日医認定産業医制度が発足したときから有資格者数の年次を追ってみますと、当初は98名で発足し、令和2年に920名と増加しております。ただ、新規認定者が徐々に減少しているのが気になるところです。【資料5-9】

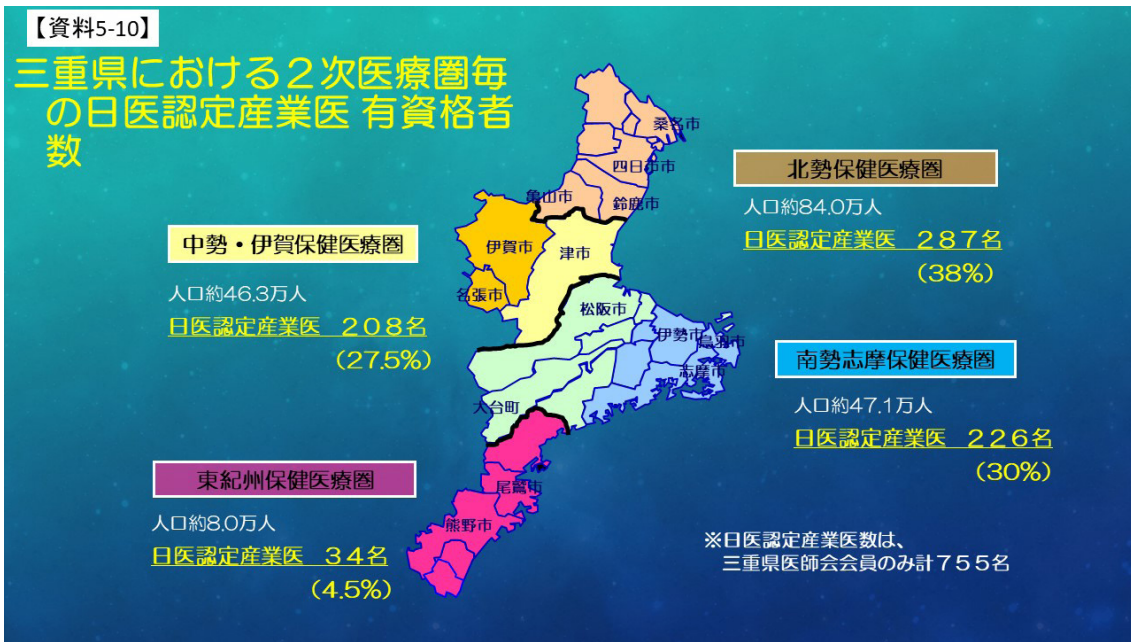
【資料5-9】

当県における 日本医師会認定産業医 有資格者の状況 ⑤

日医認定産業医有資格者・新規認定者の推移（三重県）



二次医療圏別に有資格者を見ますと、北勢、中勢、南勢と大体均等に分布しています。【資料5-10】



県下の事業所数は、産業医を必要とする労働者50名以上の企業が2264社、全事業所数の4.6%でした。計算上では、産業医1人につき2.46社を担当することとなります。【資料5-11】



現在、医師会産業保健事業として、産業医委員会と産業医研修連絡協議会があります。【資料5-12】

【資料5-12】

三重県医師会 産業保健事業

①産業医委員会

- 設置・・・昭和51年5月
- メンバー構成（24名）
 - ・ 郡市医師会産業保健担当理事 14名
 - ・ 三重産業医会 2名
 - ・ 三重県医師会産業保健担当役員 8名
- 開催状況・・・年1回開催（11月頃）
- 開催内容・・・産業医研修事業、産業医活動等に関すること

産業医委員会は、郡市産業保健担当理事、三重産業医会、県医師会産業保健担当理事の24名で構成され、年1回、産業医研修事業、産業医活動に関することについて検討しております。

また、産業医研修連絡協議会は、県医師会担当理事、産業医委員会委員長と副委員長、労働局、労働基準協会連合会、産業保健総合支援センターの20名で構成され、年2回開催され、研修事業の企画・立案などについて話し合っております。【資料5-13】

【資料5-13】

②三重県産業医研修連絡協議会

- 設置・・・平成元年度～（産業医学振興財団委託事業）
- メンバー構成（20名）
 - ・ 三重県医師会産業保健担当役員 8名
 - ・ 三重県医師会産業医委員会委員長・同副委員長 3名
 - ・ 三重労働局労働基準部 4名
 - ・ 三重労働基準協会連合会 4名
 - ・ 三重産業保健総合支援センター 1名
- 開催状況・・・年2回開催（1月～3月）
- 開催内容・・・産業医研修事業の企画・立案等

これまでが三重県医師会産業保健活動の概要です。さて、次から三重県医師会産業医部会設立に向けた話をさせていただきます。

平成31年4月11日、三重県医師会定例理事会で、4月4日に日医で開催された都道府県医師会産業保健担当理事連絡協議会の内容、日医主導の産業医の組織化について報告させていただきました。【資料5-14】

【資料5-14】

三重県医師会定例理事会（平成31年4月11日）

上記理事会で、平成31年4月4日に開催された都道府県医師会産業保健担当理事連絡協議会の内容について報告。

産業医の組織化について

産業医を取り巻く現状として、働き方改革関連法が成立し、産業医、産業保健機能の強化や治療と仕事の両立支援等を推進することとなり、今まで以上に産業医に求められる職責は高まっております。【資料5-15】

【資料5-15】

産業医を取り巻く現状

働き方改革関連法が成立し、産業医・産業保健機能の強化や治療と仕事の両立支援等を推進することになり、今まで以上に産業医に求められる職責は高まっている。

産業医が抱える課題

産業医の地位向上や仕事の内容に見合った報酬、地域偏在や需給問題、あるいは中立性を保つために産業医を守る体制作りが重要であり、そのために多職種との連携や情報交換の場など「組織」としての対応が急務である。

組織化の目的

産業医が安心して産業医活動に専念できる環境・体制作りに向け、各都道府県医師会に設置されている産業医（部）会と連携し、日医主導で産業医の全国ネットワーク作りを進めたい。

【産業保健委員会 会長諮問】

産業医の組織化に向けた具体的方策について-産業医のスキルアップと活動支援-

次に、産業医が抱える課題として、産業医の地位向上や仕事の内容に見合った報酬、地域偏在や需給問題、あるいは中立性を保つために産業医を守る体制づくりが重要であり、そのために多職種との連携や情報交換の場など、組織としての対応が急務であります。

最後に、組織化の目的として、産業医が安心して産業医活動に専念できる環境・体制づ

くりに向け、各都道府県医師会に設置されている産業医部会と連携し、日医主導で産業医の全国ネットワークづくりを進めたい旨について説明をいたしました。

次は産業医組織における段階別事業内容ですが、スキルアップ、情報提供、相談対応、事業所あっせん、活動支援、その他があり、三重県の場合、この都道府県医師会が目指す組織の段階はステップ3に相当します。今後、まずは医部会を設置してステップ4へ進め、日医が進める最終目標に取り組めるよう説明をいたしました。【資料5-16】

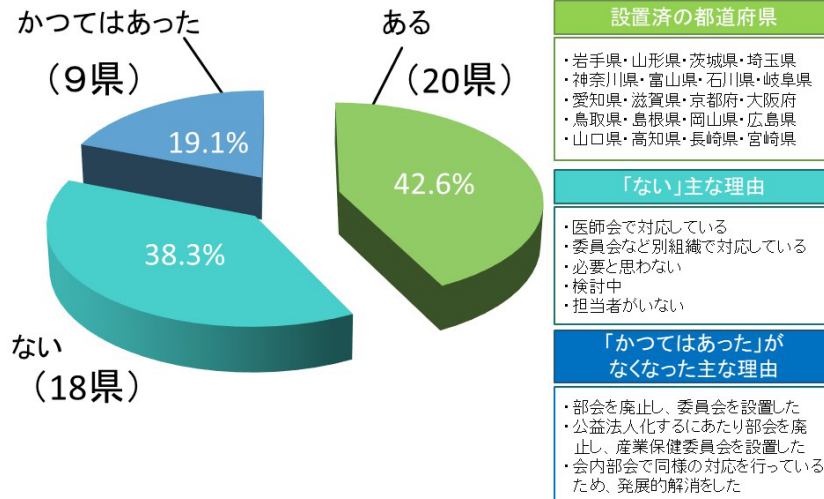
【資料5-16】		産業医組織における段階別事業内容(案)					
		スキルアップ	情報提供	相談対応	事業場斡旋	活動支援	その他
都道府県医師会が 目指す組織化	【Step1】 委員会設置	○ 研修会企画・開催	○ 研修会開催 情報提供	未実施	未実施	未実施	○ 課題検討・調査 関係団体との連携
	【Step2】 委員会設置 名簿管理	○ 研修会企画・開催	○ 研修会開催 情報提供	未実施	未実施	未実施	○ 課題検討・調査 関係団体との連携 産業医名簿管理
	【Step3】 医部会設置	○ 研修会企画・開催	○ 研修会開催 情報提供	未実施	未実施	未実施	○ 部会員名簿管理 交流(親睦) 各種調査
	【Step4】 医部会設置 産業医紹介	○ 研修会企画・開催	○ 研修会開催 情報提供 機関誌発行	未実施	○ 産業医紹介	未実施	○ 部会員名簿管理 交流(親睦) 各種調査
日医	【最終目標】 産業医支援 事業展開 日医がサポート	○ 研修会企画・開催 テーマ別実践研修 個別指導(OJT) 産業医体験 ICT活用	○ メルマガ配信 全国研修会情報定期 配信 産業保健21の定期 配信	○ 産業医からの相談対 応 過去のQ&AをHP等 に掲載	○ 事業場と産業医の マッチングとフォロー アップ支援	○ ストレスチェック実施 支援 日医基準の優良事業 者の外部委託連携	○ 部会員名簿管理 交流(親睦) 各種調査 学会・関連団体との 連携

R1.10.10 全国会議資料より

産業医部会の設置状況は、ある県が20県、ない県が27県で、三重県は「ない」方に入っておりました。【資料5-17】

【資料5-17】

【参考】産業医(部)会の設置状況について



日本医師会「認定産業医に関する組織活動の実態調査」結果より(2018年1月)

平成31年4月25日、三重県医師会定例理事会で、産業医の組織化に関する検討会を開催し、検討していききたい旨、この資料のとおり提案し、了承されました。【資料5-18】

【資料5-18】 三重県医師会定例理事会 (平成31年4月25日)

・上記理事会で、「産業医の組織化に関する検討会(仮称)」を開催し、検討していききたい旨、下記のとおり提案し了承された。

◆開催日：令和元年5月30日(木)

◆出席者：県医師会産業保健担当役員

県医師会産業医委員会 委員長、副委員長

三重大学大学院医学系研究科 公衆衛生・産業医学分野 教授

◆開催内容：日医では産業医が安心して産業医活動に専念できる環境・体制づくりに向け、各都道府県医師会に設置された産業医(部)会と連携し、日医主導で産業医の全国ネットワークを構築する事について検討している。

三重県医師会においては、産業医(部)会の設置がない状況から、今後、産業医の組織化も含めどのような形で参画していくのか等を検討。

第1回検討会は翌月の令和元年5月30日に開催、出席者は三重県医師会産業保健担当理事、産業医委員会委員長、副委員長、三重大学公衆衛生・産業医学分野教授といたしました。開催内容は、三重県においては産業医部会がございませんので、今後、産業医の組織化も含め、どのような形で参画していくのか等を検討していくことにいたしました。

令和元年5月30日、前述のメンバーで産業医の組織化に関する検討会を開き、検討会の名称を三重県医師会産業医部会設立検討委員会としました。【資料5-19】

【資料5-19】

産業医の組織化に関する検討会（仮称）

【令和元年5月30日】

○協議事項

- ・検討会の名称、メンバー構成等について
⇒『三重県医師会産業医部会』設立検討委員会
- ・産業医の組織化について
 - ◆平成31年4月4日開催の都道府県医師会産業保健担当理事連絡協議会の内容説明
 - ◆中部各県医師会の産業医部会の設置状況の説明
 - ◆県医師会産業医委員会、三重県産業医研修連絡協議会、三重産業医会の活動内容と構成員などの説明



産業医部会を設立する方向で検討していく旨、理事会に報告

会議では、平成31年4月4日に日医が開催した都道府県医師会産業保健担当理事連絡協議会の内容のほか、中部各県医師会の産業医部の設置状況、県医師会産業保健関係の会の活動内容と構成員等の説明をいたしました。また、産業医部会を設立する方向で検討していく旨を次回の理事会で報告することを決定しました。

これが設立検討委員会のメンバーで、松本会長をはじめ12名です。【資料5-20】

【資料5-20】

『三重県医師会産業医部会』設立検討委員会 ①

委員会メンバー

＜三重県医師会＞	松本会長	
	二井副会長	（産業保健担当）
◎委員長	田中理事	（同）
	齋藤理事	（同）
	片岡理事	（同）
	曾我理事	（同）
	石田理事	（同）
	矢倉理事	（同）
	萩原委員長	（産業医委員会）
○副委員長	酒井副委員長	（同）・（三重産業医会会長）
	日比副委員長	（同）
＜三重大学大学院医学系研究科＞		
	筈島教授	（公衆衛生・産業医学分野）

今後、設立検討委員会は計6回にわたり、私が参加させてもらっている日医産業保健委員会の開催後にするよう日程を組みました。【資料5-21】

『三重県医師会産業医部会』設立検討委員会 ②

○6回にわたり開催

- ・第1回 産業医の組織化に関する検討会（仮称）
※令和元年 5月30日（木）

○日医産業保健委員会の開催後に設立検討委員会を開催

- ・第2回 令和元年 7月11日（木）
- ・第3回 令和元年 9月28日（土）
- ・第4回 令和元年11月28日（木）
- ・第5回 令和2年 1月25日（土）
- ・第6回 令和2年 2月27日（木）

次の資料からは、日医の産業保健委員会の報告事項と県の設立検討委員会での協議内容を別の色で表示しております。第2回設立検討委員会では、日医第4回産業保健委員会の報告で、各都道府県における日医認定産業医に関する組織活動の実態調査結果、各都道府県の産業医部会・委員会設置状況、設置県の役員構成、会則、会費、また、産業医紹介システムに係る民間事業者のヒアリングについて説明し、県産業医部会の年会費、会則、紹介システムはどのようなものになっていくかを検討しました。【資料5-22】

第2回『三重県医師会産業医部会』設立検討委員会

【令和元年7月11日】

○日医第4回産業保健委員会（令和元年6月6日）の報告

- ・各都道府県における『日医認定産業医に関する組織活動の実態調査結果』
- ・各都道府県の産業医部会・委員会設置状況
- ・産業医部会の設置県の役員構成、会則、会費など
- ・産業医紹介システムに係る民間事業者のヒアリング

○協議内容

- ・年会費をどうするか？
- ・会則の作成について
- ・産業医紹介システムがどのようなものになっていくのか？

第3回設立検討委員会では、日医第5回産業保健委員会の報告で、各地区の産業医活動、産業医に関する組織活動実態調査結果、日医産業保健委員会中間答申について説明し、県産業医部会の会員資格等について検討しました。【資料5-23】

【資料5-23】

第3回『三重県医師会産業医部会』設立検討委員会 【令和元年9月28日】

○日医第5回産業保健委員会（令和元年9月19日）の報告

- ・各地区の産業医活動について
- ・産業医に関する組織活動実態調査結果について
- ・日医産業保健委員会中間答申について

○協議内容

- ・会員資格について

第4回設立検討委員会では、日医第6回産業保健委員会の報告で、今日行われている第1回全国医師会産業医部会連絡協議会の開催、産業医契約支援モデル事業について説明し、県産業医部会の会則などについて検討しました。【資料5-24】

【資料5-24】

第4回『三重県医師会産業医部会』設立検討委員会 【令和元年11月28日】

○日医第6回産業保健委員会（令和元年11月14日）の報告

- ・第1回全国医師会産業医部会連絡協議会の開催について
- ・産業医契約等支援モデル事業など

○協議内容

- ・会則（案）などについてどうするか？

第5回設立検討委員会では、日医第7回産業保健委員会の報告で、産業医契約等支援モデル事業の協力委託業者紹介、埼玉県・東京都医師会事前打合せについて説明しました。県産業医部会に関する協議では、年会費をどうするのかを検討し、今後約2年間は今までと産業医部会の活動は変わらない方向なので、年会費は徴収しないといたしました。さらに、会則案を提案し、検討しました。【資料5-25】

【資料5-25】

第5回『三重県医師会産業医部会』設立検討委員会

【令和2年1月25日】

○日医第7回産業保健委員会（令和2年1月24日）の報告

- ・産業医契約等支援モデル事業
モデル事業協力委託業者紹介
埼玉県・東京都医師会事前打合せ報告

○協議内容

- ・年会費をどうするか？
⇒ おおよそ今後2年間は今までと産業医部会の活動は変わらない方向
年会費は徴収しない。
- ・会則（案）を提案

第6回設立検討委員会では、日医第8回産業保健委員会の報告で、産業医制度の現状と課題、認定産業医の実態調査、組織化、事業、産業医モデルの事業の進捗状況を説明しました後、会則の承認、産業医部会設立の決定をいたしました。【資料5-26】

【資料5-26】

第6回『三重県医師会産業医部会』設立検討委員会

【令和2年2月27日】

○日医第8回産業保健委員会（令和2年2月13日）の報告

- ・産業医の制度の現状と課題
- ・認定産業医の実態調査
- ・認定産業医の組織化
- ・認定産業医組織の事業
- ・産業医モデル事業の進捗報告

○協議内容

- ・会則（案）の承認
- ・産業医部会の設立の決定

令和2年3月12日、三重県医師会定例理事会で、6回にわたり開催した設立検討委員会における検討結果を報告するとともに、産業医のための組織化を図り、産業医が安心して産業医活動に専念できる体制づくりを目的として、三重県医師会産業医部会を立ち上げたい旨を説明し、また、会則、役員選任について提案し、承認されました。その結果、令和2年4月1日に三重県医師会産業医部会を設立することが決まりました。【資料5-27】

【資料5-27】

三重県医師会定例理事会（令和2年3月12日）

・上記理事会で、6回に亘り開催した『三重県医師会産業医部会』設立検討委員会における検討結果を報告すると共に、産業医のための組織化を図り、産業医が安心して産業医活動に専念できる体制作りを目的として、「三重県医師会産業医部会」を立ち上げたい旨説明、会則・役員選任について提案し、承認された。



令和2年4月1日～『三重県医師会産業医部会』設立

産業医部会を設立したことは、郡市医師会長、郡市医師会産業保健担当理事宛てに文書にて周知したほか、会員へは「三重医報」4月号へ折り込み案内をしました。【資料5-28】

【資料5-28】

産業医部会設立についての周知

○郡市医師会長、郡市医師会産業保健担当理事宛に
文書にて周知

（◆令和2年4月1日付、松本純一 産業医部会 会長名で通知）

○会員への周知

会報誌『三重医報』4月号へ折込案内

（◆関係事項説明・会則・役員一覧・入会届等）

今後、日医が産業医組織化に向けて取り組む必要性が高い施策として、事業所と産業医のマッチング、事業所との契約や報酬交渉、煩わしい事務作業等の代行サポート、嘱託産業医ストレスチェック実施に対する支援事業が挙げられます。三重県医師会は、日本医師会主導による産業医紹介事業者を活用した産業医契約等支援モデル事業に手挙げし、来年度から開始予定です。【資料5-29】

【資料5-29】

医師会主導による産業医紹介事業者を活用した 産業医契約等支援モデル事業

・日本医師会において、昨年8月に実施された『産業医に関する組織活動実態調査』の結果より、今後、日医が産業医の組織化に向けて取り組む必要性が高い施策として、三重県では

『事業場と産業医のマッチング』、『事業場との契約や報酬交渉、煩わしい事務作業等の代行サポート』、『嘱託産業医ストレスチェック実施に対する支援事業』を挙げた郡市医師会が3～4割ありました。



三重県医師会は、モデル事業に手上げし、来年度開始予定

これがモデル事業のスケジュールで、三重県は2021年1月から業者との打合せが始まります。【資料5-30】

【資料5-30】 モデル事業実施医師会（案）

手を挙げて頂いた各医師会においてモデル事業の実施が可能か否か？組織化の意図を理解した委託業者と協議を行った。結果として、①自身体制の方全を尽くして臨みたい②可能な限り、多様なニーズに応えたい③助成事業とはいえ、交通費等のコストは極力抑えたい（両社とも東京本社）との理由から、まずは体制が整えやすく、事例が多いと想定される埼玉県・東京都・愛知県・福岡県の4力所から順次実施し、次年度（2021年4月）以降に、三重県・宮崎県をはじめ、その他地域へ範囲を広げて継続実施を行っては如何か。
※実施スケジュール（案）は下記の通り。また、5/31連絡協議会取組報告について、第1弾先行実施医師会より1医師会にご対応を頂く予定。

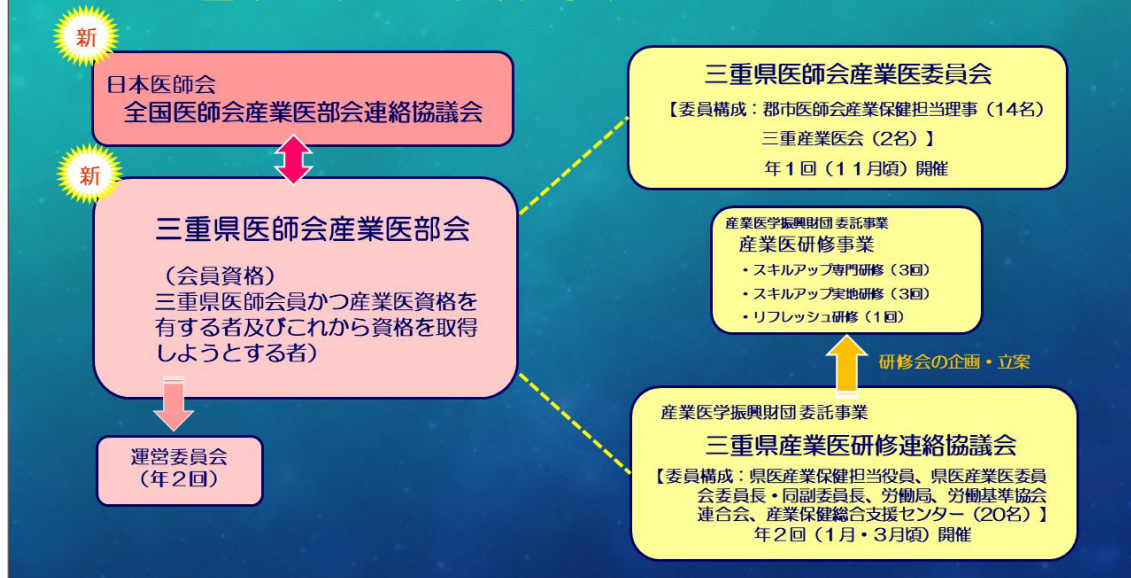
スケジュール（案）

	2020年1月	2020年2月	2020年3月	2020年4月	2020年5月	2020年6月	2020年7月	2020年8月	2020年9月	2020年10月	2020年11月	2020年12月	2021年1月	2021年2月	2021年3月
さんぎょうい	【埼玉県医師会】 大宮・越谷・南埼玉郡医師会で実施予定										【三重県医師会】 医師会・業者打合せ				
	医師会・業者打合せ			【第1弾】4月開始予定（10月に中間報告予定）						継続実施（3月に最終報告予定）					
	【東京都医師会：日本橋】										医師会・業者打合せ				
	医師会・業者打合せ			【第1弾】4月開始予定（10月に中間報告予定）						継続実施（3月に最終報告予定）					
日本産業医支援機構	【愛知県医師会】										医師会・業者打合せ				
	医師会・業者打合せ			【第2弾】7月開始予定（1月に中間報告予定）						継続実施					
	【東京都医師会：渋谷区】										【宮崎県医師会】 医師会・業者打合せ				
	医師会・業者打合せ			【第1弾】4月開始予定（10月に中間報告予定）						継続実施（3月に最終報告予定）					
日本産業医支援機構	【東京都医師会：港区】										医師会・業者打合せ				
	医師会・業者打合せ			【第1弾】4月開始予定（10月に中間報告予定）						継続実施（3月に最終報告予定）					
	【福岡県医師会】										医師会・業者打合せ				
医師会・業者打合せ			【第2弾】7月開始予定（1月に中間報告予定）						継続実施						

次年度継続実施

次の資料は三重県医師会産業保健事業のイメージです。日本医師会と連携を取り、年に2回運営委員会を開催します。その上で、医師会産業医部会は、今までの医師会産業医委員会と産業医研修連絡協議会の統括的な役割をしていきます。【資料5-31】

【資料5-31】 三重県医師会 産業保健事業イメージ図（令和2年度～）



今後の三重県医師会産業医部会は、非会員への医師会入会促進を図るとともに、産業医が安心して産業医活動に専念できる環境・体制づくりに向け、日本医師会と連携しながら産業医部会を推進してまいります。また、新たな実務的な課題として、今回のCOVID-19のような新型感染症が拡大した際の産業医研修会の開催方法など、今年度より対策を検討し、取り組まなければならないと思います。【資料5-32】

【資料5-32】

今後の『三重県医師会産業医部会』では・・・

働き方改革関連法等への対応により、今まで以上に産業医に求められる職責は高まっている。

新たな実務的な課題として、今回のCOVID-19のような新型感染症が拡大した際の産業医研修会の開催方法（テレビ会議や遠隔システム等への対応）等、今年度は対策を検討し取り組まなければならない。

非会員への医師会入会促進を図ると共に、**産業医が安心して産業医活動に専念できる環境・体制**づくりに向け、日本医師会と連携しながら、**産業医部会事業**を推進してまいります。

ご清聴どうもありがとうございました。

○相澤委員長（司会） 田中先生、どうもありがとうございました。産業医委員会から今年度部会に立ち上げるということ、大変なご苦労かと思えますけども、ステップ3から4になって、また、全国の県医師会のモデルとしてこれからご活用いただけたらと思います。どうもありがとうございました。